



東京大学合格おめでとうございます!!



2024年度大学入学者選抜試験にて、見事、**東京大学文科三類**に合格されたK君にインタビューさせていただきました。個別二次試験対策や日頃からの勉強法など、是非ともご参考にしていただければと思います。

東京大学合格、本当におめでとうございます!!
東京大学合格までの道のりについて教えてください!

ILSには、高校2年生の夏に、当時のクラス担任の先生のお勧めにて入会しました。実は当時英語がかなり苦手だったんです。当時は岡山大学の文学部を目指して、ILSで勉強をスタートしました。その頃、学校の実力テスト(英語)で200点満点中59点と、岡大には足りない点数でした。レッスンでは、長文読解集・文法集・単語帳をどんどん進めることからスタートしました。その後、少しずつ力をつけることができ、3年生の10月の実力テスト(英語)で200点満点中139点を取る事ができ、**志望校を東京大学へと変更しました!**ただ、受験前ギリギリでの志望校変更だったため、二次試験対策が間に合いませんでした。そして、東大試験結果(英語)は120点中58点・・・他の教科も思うように行かず、浪人を決意しました。浪人期では、4月からひたすら東大赤本に取り組み続け、模試などの判定では1年間安定してAかBを取る事ができました。そして迎えた試験!要約問題とリスニングが難しかったですが、**結果(英語)は120点中76点取ることができ、無事合格できました。**

東京大学を志望校にした理由は何ですか?

“模試などで、まずは第一志望に東大と書くこと!”これは母校の伝統なんです。(笑)
でも、現実的には2年生までは岡大を目指していました。3年生になり、英語力をはじめ他教科の力が付いてきたころ、阪大や東大を視野に入れ始めました。最終的に、**「学びを突き詰めたい!」「東大でしかできない学問を究めたい!」**そういった考えと、言うまでもなく就職に有利であることを考慮し、東京大学を目指すことにしました。

ILSの授業ではどのようなことに取り組みましたか?

2年・3年次では、単語・文法や長文読解など、基礎的な力を身につけていくことからスタートしました。小手先のテクニックと言った指導ではなく、**英語における本質的な指導**をしていただけたことが、自分の中で大変役に立ったものと思います。単語を例で挙げるなら、“無機質な記号として覚えるのではなく、接頭・接尾語などの意味を考えながら覚えることが大切”だと言うことが身にしみました。英作文添削においては、豊富な代替表現の提案や、自然性を重視して見ていただけました。浪人期では、一貫して赤本対策を進めていきました。和文英訳や自由英作文を毎週毎週見てもらえたことがありがたかったです。かなりの量の演習&添削を通して、**「どれだけ難しい日本文でも自分ならできる!」**という自信を持てたことが良かったです。また、要約問題、和訳問題、長文読解、リスニングと多岐にわたり対策を行ったことにより、**東大の問題に対して心的ハードルが低くなって行った**ことを実感できました。

受験勉強では、どのような教材を使いました

以下のような教材を使いました。

【単語】LEAP、鉄壁【文法】ドラゴンイングリッシュ【リスニング】ALL EARS

【和文英訳】ポラリス【長文読解】RISE

東大過去 25 年赤本、阪大過去 20 年赤本など

ILS の良いところを教えてください！

内容という面では、**その生徒に即した指導**をしてくれる点です。僕の場合、現役時に基礎的な英語力を本質的な観点から伸ばしてもらったところにより、浪人期ではひたすら東大過去問と向き合うことができました。英作文に関しては、学校よりも厳しい観点で、添削してもらえたことが良かったです。学校はやはり集団に向けた添削のため、若干甘めに感じました。形態に関して言うと、集団授業だと間違えるのが恥ずかしいと思ってしまうタイプなのですが、1対1だとそんなことはないので、**しっかり間違えて力を付けることができた**点です。余談ですが、住宅をそのまま使っているので、アットホームな感じで緊張せずレッスンに集中することができたのも良かったです（笑）

難関校を目指す受験生にアドバイスをお願いします！

“悔いのない受験にすること”です。現役時、試験前日に緊張してあまり寝れませんでした。それを踏まえ、浪人時では、ギャバのチョコレートを食べて何とか寝ました。やはり、本番で実力を出し切るためには、**“当日にどうコンディションを整えるか”**が大切だと思います。それぞれの技能に関しては下記の通りです。

【共通テスト対策】模試パッケージを沢山解いてケアレスミスを減らすこと、間違えたらなぜ間違えたのかの分析を行うことが大切です。

【英作文対策】論理性がしっかりしていないと点がでない。添削にて他者の目を通して、自身の構成力を確認していくことが力になります。

【リスニング】急がば回れ。スクリプトの音読やシャドーイングは非常に大切です。

【長文読解】大学によって傾向が異なるので、その大学の過去問を繰り返しとことん扱う！

【単語】自作の単語帳を作成して、新出単語を発見する度に自作単語帳へ移していきました。類義語など関連付けて覚えるのも良いです。

将来の夢を教えてください！

東大では、専攻する学問を突き詰め、講談社のような出版会社に就きたいと考えています。本が好きなので、自分の読書経験を生かして、より良い本を世に出すことができれば嬉しいです。

ありがとうございました！！K君の手がけた本、楽しみにしていますね！